

先週の礼拝メッセージ(2022年2月6日) ベン牧師

「すべてを満たすために」 エフェソの信徒への手紙 4:7-10

神様は私たち一人一人に異なった賜物を与えてくださっているというのが今日の箇所です。

7節では、賜物は恵みと表していますが、聖書のギリシャ語では、賜物は「カリスマ」という言葉、恵は「カリス」という言葉で、両方とも「喜び」を語源としています。私たち賜物が与えられていること自体、神の祝福であり、私たちにとって喜びだということです。

時々、私には何の賜物もないとおっしゃる方がいますが、聖書は一人一人に賜物を与えられている、すなわちすべての人にキリストからの賜物を与えられていると宣言します。

賜物には大きく分けて三種類あります。

一つは、行動に表れるものです。たとえば、教える賜物、癒しを行う賜物など、その人の行動となって表れるものです。

二つめは、ローマ12:6~にあるように、私たちの内面的な賜物です。それは才能と似ていますが、クリスチャンになってから与えられるものです。

三つめは、今日の箇所にも記されている賜物で、教会のメンバー一人一人に、役割(職務)を与えてくださっているというものです。

私は牧師としての職務を神様から与えられています。それは牧師だけではなく、どんな奉仕、ミニストリーであっても、神様からその奉仕に対する職務の賜物を与えられているのです。

教会は、そういう方々の賜物が行動となって表れて、キリストの体としてたてあげられていくのです。

さらに10節には「この降りて来られた方が、すべてのものを満たすために、もろもろの天よりも更に高く昇られたのです。」とあります。



イエス様は、天において私たちのためにとりなし、私たちと共に歩んでくださるばかりか、教会に働き人を与えて、その働きを通してすべてのものを満たそうとしておられるのです。

私たち一人一人の物質面、霊的な面のすべてを満たす方として教会に満ちておられるのです。「教会はキリストの体であり、すべてにおいてすべてを満たしている方の満ちておられる場です。」(エフェソ1:23)

教会は建物ではありません。ましてや牧師や一部の人のものでもありません。私たち一人一人がキリストの体、教会であり、そのクリスチャンの集まるところが教会なのです。ですから、自分が気づいたことがあれば、自分が動くのです。決して私たちは「お客さん」としてここにいるではありません。主のために自分にできること、自分が気づいたことをしていく、あるいは、サポートし祈り合うことが教会を建て上げることになるのです。

メンバーシップというのは、私もこの教会をたてあげるために働きたいという意思表示でもあるのです。

神の祝福は主の栄光のために働く時、降りそそぎます。賜物に応じて、重荷を負いあっていく姿勢を一人一人が持つ時、教会には愛が溢れ、祝福が満ちるのです。

新しくきた人に声をかける、誰かと祈ってから席を立つなど、あなたにしかできないことがきっとあるはずです。それは何も大それたことをしなさいというわけではありません。

私自身は細やかな心配りが苦手なタイプです。教会の皆さんの助けが必要です。これも神様の祝福であると思っています。すべてのものを満たすために来られたイエス様の目的が、私たちの教会において、欠けのある私を助けてくださる皆さんを通して実現するのですから。

みなさんはイエス様から賜物を与えられているのです。あなたの居場所が教会にはあるのです。あなたがいるからこそ、教会はキリストの体として成長できるのです。それぞれが与えられた賜物を用い、愛にあふれる教会として成長させていただこうではありませんか。